

## 1 主題

「学力向上に向けた学習習慣と基本的な生活習慣の形成を図り、  
さらに充実させるための小中連携の在り方」

## 2 主題設定の理由

### (1) 「連携」の趣旨に基づいて

「中一ギャップ」を解消し、小学校から中学校への滑らかな接続を図ることにより、義務教育9年間を通じた系統的な学習指導による学力向上

◇系統的な学習指導の中心は『ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり』

### (2) 南浜中学校区の児童生徒の実態から

#### ①児童生徒を取り巻く現状

これまで学習習慣形成のため「南浜授業の約束」「南浜家庭学習の約束」を設定し、小学校と中学校の連携、学校と家庭との連携によって推進してきた。また、基本的な生活習慣の基本はあいさつであるという共通認識のもと、保・小・中が同一歩調で、家庭・地域にも呼びかけ、南浜地区一体となった「南浜さわやかあいさつ運動」を推進してきた。

最近では少子化が顕著に進み、本学区では、教職員数の減少、複式学級の増加、部活動の再編成など、年々学習環境が変化している。そこで、児童生徒が安心して学校生活を送り、一人一人が目標をもって自ら努力し、達成感を味わいながら学ぶ学校環境、学習指導、生徒指導の在り方が今日的課題となっている。

#### ②基本的な学習習慣など学習面にかかわること

南浜中学区の学力の実態をふまえ、特に学力向上について小中連携した取組が必要であるとの認識の元、平成26年度から小中各校において、家庭学習の習慣化と基礎的・基本的内容の確実な定着に取り組んできた。「伝え合う姿勢」「自主学習ノートの内容の充実」についてはまだ課題が残るため、家庭との連携を図りながらこれまでの取組の検証とその改善が必要である。

#### ③基本的な生活習慣にかかわること

平成19年度から重点的に取り組んできた「あいさつ、正しい言葉遣い」については、改善が見られるようになってきたが「相手のことを考えた伝え方」については不十分であるため、今後も家庭・地域と連携して取り組みたい。児童生徒が学校生活全般の中で意欲と目標をもち、生き生きと活動することを通して、あいさつや受け答えを自ら積極的に行う態度を養いたい。

### (3) 家庭や地域の願いから

南浜中学校区では児童生徒のよりよい成長を願い、様々な団体と連携して活動している。南浜地区青少年生活指導協議会と南浜地区防犯協会が共催するスポーツ大会など、南浜地区全体が児童生徒の健全育成への関心が高い。これらの地域の力を生かし、地域密着型教育との関連を図りながら児童生徒の健全育成に取り組む必要がある。

### (4) 小中連携を通してめざす児童生徒像及び教職員像

#### 〇めざす児童生徒像

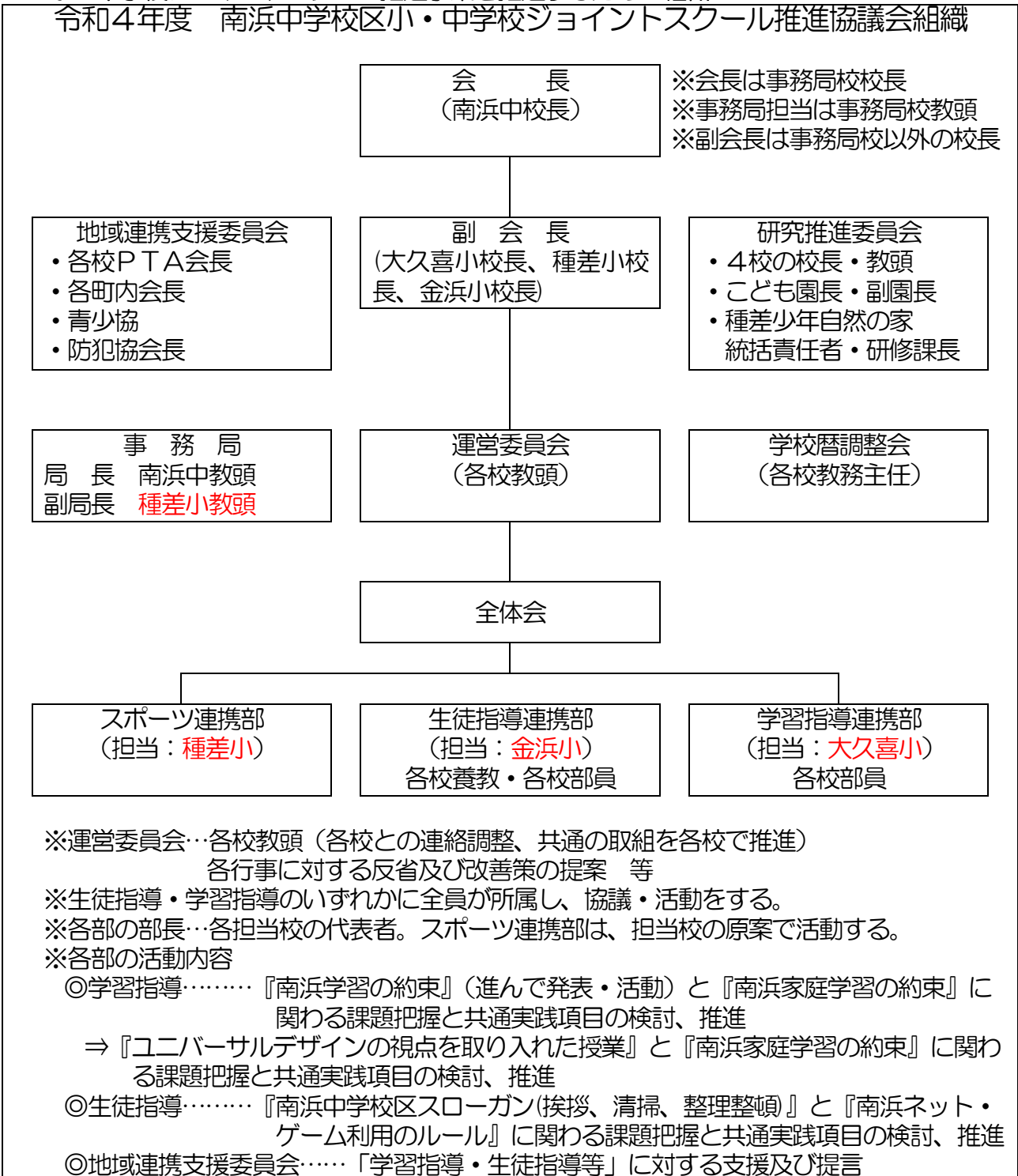
- ・意欲的に学習に取り組む児童生徒
- ・自己を律し友達と協調しあって行動できる児童生徒
- ・目標に向かって主体的に努力する児童生徒
- ・生まれ育った地域に愛情と誇りをもつ児童生徒

#### 〇めざす教職員像

- ・広い視野をもち、長期的視点に立って児童生徒を指導できる人間性豊かな教職員
- ・教育の専門家としての確かな力量をもち、常に学びつづける教職員
- ・児童生徒、保護者、地域住民に信頼される教職員

### 3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織

令和4年度 南浜中学校区小・中学校ジョイントスクール推進協議会組織



### 4 中学校区の重点指導項目

南浜中学校区 重点指導項目

- |                                   |           |
|-----------------------------------|-----------|
| (1) 発達段階に応じた学習習慣を身に付けさせる          | (学習指導連携部) |
| (2) 「自分の考えを伝える」力の育成を図る            | ( // )    |
| (3) 学校間の授業交流に取り組む                 | ( // )    |
| (4) 南浜中学校区スローガン（挨拶、清掃、生活習慣）を達成させる | (生徒指導連携部) |
| (5) ネットモラルについて計画的に指導する            | ( // )    |

## 重点指導項目の取組について

### 1 重点指導項目

- ◎ 発達段階に応じた学習習慣を身に付けさせる
- ◎ 「自分の考えを伝える」力の育成を図る
- ◎ 学校間の授業交流に取り組む
- ◎ 南浜中学校区スローガン（挨拶、清掃、生活習慣）を達成させる
- ◎ ネットモラルについて計画的に指導する

### 2 取り組みの内容について

#### (1) 家庭学習の内容の充実（授業と家庭学習との関連）

「南浜」家庭学習の約束（決められた時間いっぱい、集中して家庭学習に取り組む）

- ① 毎日（ ）分、家庭学習に取り組む。

小学生 1・2年…30分

中学生 1年…1.5時間以上

3・4年…45分

2年…2時間以上

5・6年…1時間以上

3年…2.5時間以上

（但し6年生は中学進学を見据えて3学期から1.5時間とする）

#### (2) 「南浜」授業の心構え

- ① 次の授業の前に、学習の準備をする。
- ② 指名されたら、いつでもはっきり返事をする。
- ③ 自分の考えをもち、進んで伝え合う。

#### (3) 南浜中学校区スローガン（挨拶、清掃、生活習慣）

- ① さわやかな挨拶ができる生徒  
地域・学校・家庭 いつでもだれにでもきれいな言葉で伝えよう。  
（あいさつ・ありがとう・ごめんなさい・きれいな言葉遣い）
- ② 一生懸命掃除ができる生徒  
時間いっぱい働く
- ③ 健康的な生活習慣を実践できる生徒  
早寝・早起き・朝ご飯、ゲームやインターネットの使用時間

#### (4) 南浜ネット・ゲーム利用のルール（インターネット・オンラインゲーム等の取り扱い）

- ① 食事中には使用しない。（小学生は宿題・食事が終わってから使用する）
- ② 睡眠を小学生は9時間以上、中学生は7時間以上とれるように使用する。
- ③ 1時間ごとに休憩をとり、小学生は20時以降は使用しない。中学生は22時以降は他人と関わらない。
- ④ 家族でも利用のルールをつくり、見直しをする。
- ⑤ 誰かが不快に感じるような言葉や画像、他人の個人情報には発信しない。
- ⑥ トラブルに巻き込まれた時やその可能性がある時は、保護者や学校に相談する。
- ⑦ 知らない人とは、連絡を取らない、会わない。

### ◆ 今年度の取組について

#### 【学習指導連携部】

#### (1) 発達段階に応じた学習習慣を身に付けさせる。

・家庭学習の内容充実のため、小学校では習熟状況の確認や丁寧を書くことの意識付け、間違いやすい問題や初めての形式の問題の説明を行う時間を設定している。中学校では問題解決的な授業展開と自主学習ノートの関連を図る「テーマ型家庭学習」に取り組んだ。

○進んで家庭学習を行っている（小保護者アンケート）

4段階中3か4を選択した割合（以下すべて同様） 1学期78%→2学期81%

○決められた時間、毎日家庭学習に取り組んでいる

（小保護者） 89%→96% 94%→94% 69%→62%

- 決められた時間、宿題や家庭学習をがんばった（児童）100%→100%（2校）
- ・中学校 1年生 57%→100% 2年生 70%→80% 3年生 57%→83%

(2) 「自分の考えを伝える」力の育成を図る

- ・教師・保護者と児童・生徒の評価に乖離が見られており、意識を共有しながら継続していく必要がある。

- 自分の考えを発表している（児童）93%→93% 100%→100% 86%→86%
- （児童保護者）63%→78% 83%→92%

- ・中学校 生徒 96%→78% 教職員 85%→100%

(3) 学校間の授業交流に取り組む

- ・2学期に種差小にて授業公開を行った。複式教育について協議を行い、中学校側も、学区の小学校での教育の特色について理解が深まった。

⇒全体会で中学校の授業公開、2学期に小学校の授業公開

【生徒指導連携部】

(1) 南浜中学校区スローガン（挨拶、清掃、生活習慣）を達成させる

①さわやかな挨拶ができる

- ・集団として元気のよいあいさつはできる。個として、1対1のあいさつ力を高めたい。

児童 11月93% 94%→100% 100%→93%

保護者 11月85% 94%→89% 100%→100%

中学校 92%→92% 保護者 70%→80%

②一生懸命に掃除ができる

- ・校内での掃除は良好であるが、家の手伝いや整理整頓など、見えにくい活動に課題がある。

○進んでそうじをしている（児童）100%→100% 86%→93%

- ・中学校 生徒91%→100% 保護者96%→100% 教職員86%

○進んで家の手伝い・片付けをしている

（保護者）59%→56% 64%→43%

- ・中学校 83%→82% 保護者 50%→57%

③健康的な生活習慣を実践できる。（ネット・ゲームの利用時間）

- ・児童・生徒と保護者の評価が乖離しており、面談の活用等、実態把握と指導の工夫を図っていきたい。中学生は学年が上がるにつれて利用時間も減っており、学習時間との相関が見られる。夜遅くまで使用する児童が学年問わず見られ、危機感を感じている。

○ネット・ゲームの利用時間

児童 11月100% 後期(12月)94% 保護者 11月63%

中学校 生徒 7月14~71%→11月29~83%

○小学生は20時、中学生は22時以降は使っていない。

児童 後期(12月)78%

中学校 生徒 11月83% 保護者 11月60%

⇒1人1台端末の持ち帰りや健康的な生活の実践といった、実情の変化に合わせたルールの見直しや生活リズム調査の改善が必要である。

(2) ネットモラルについて計画的に指導する

- ・参観日のネットモラル講話や、ネットモラルを題材としたリモート授業を行うことにより、生徒・保護者への啓蒙を図った。
- ・ネットモラルの定着をどう検証するかが課題である。
- ・使用ルールの意識付けについて、児童・生徒と保護者の評価に乖離が見られる。面談では食事中に使用する等、保護者の悩みも聞かしている。

○ネット・ゲームは、宿題・食事が終わってから使用している。

児童 後期(12月)94% 中学校 生徒 11月78% 保護者 11月69%

⇒ネットトラブルから自分で身を守り、将来の自己管理の力を身に付けさせるため、家庭でのルールづくりや見直しについても意識付けを図る。

【運営委員会】

(1) 小中の情報交換を密にするために

- ① 全体会で、中学校からの情報提供を行い、全員で共通理解する。(事務局担当)
- ② 中学校の授業を小学校教員全員で参観する機会を設ける。…6/6全体会(南浜中担当)  
⇒小学校の授業を参観する機会を設ける。 11月9日(金浜→大久喜→種差小)

【アンケートの実施】

(1) 学校評価とあわせてJSの重点項目についてアンケートを実施し、各校でまとめ、運営委員会。

- ⇒シールを作成し、ライフ・自主学习ノートに貼り、意識して実践できるようにする。
- ・JSのアンケートを学校評価に入れる。

◇ 令和4年度 事業計画

学期	月	日	研究内容	担当校、場所等
I	4	18 (月)	運営委員会議 ・1年間の事業の確認と各事業の計画 ・重点指導項目の研究計画 ・全体会の内容について	南浜中学校  ※終了後プール管理委員会(南浜中担当)
	5	9 (月)	三連携部会部長会議 ・実践研究計画の共通理解と三部会の連携を確保する。	南浜中学校
		随時	各連携部会(学習・生徒指導) ※各部長がリードして、実施(各校1名参加) ※6月6日(月)の全体会に向けた原案作り	学習:大久喜小 生徒指導:金浜小 (案内は各校教頭)
	6	6 (月)	事業①…南浜中学校区小・中JS授業研修会・全体会 ※期日、持ち方等については会場校に一任。 ○懇親会⇒なし	会場:南浜中
	7	16 (土)	事業②…南浜スポーツ大会 ※小学1年以上対象 10:00~12:00 種差少年自然の家 (雨天の場合は中止)	青少協・防犯協会 共催 担当 種差小
II	8	24 (水)	運営委員会議・三連携部長会議(予備) ※2・3学期の事業の確認 ・アンケートの内容検討・情報交換	南浜中学校
	<del>11</del>	<del>(-)</del>	<del>事業…6学年児童による南浜中学校訪問 (授業参観・授業体験・部活動体験等)</del>	南浜中学校
	11	9 (水)	事業③…授業研 ・小学校の授業参観 ・各連携部会会議(学習・生徒指導)	金浜小 学習:大久喜小 生徒指導:種差小
III	1	冬季 休業中	各学校(学習・生徒指導) ・アンケート等をもとに成果と課題を協議し、次年度の取組事項について協議する。 ※結果を事務局に送付。23日の運営委員会議で次年度の計画に生かす	

	19 (木)	南浜中学校区小・中ジョイントスクール学校暦調整会 (各校教務主任) ・5年度の学校暦調整と年間事業計画案の日程調整	南浜中学校
	23 (月)	南浜中学校区小・中ジョイントスクール運営委員会議 (各校教頭)・三連携部長会議 ・各連携部でのまとめを報告し、共通理解する。 ・次年度の見通しを持つ。 ・5年度の研究主題・計画の立案 資料：各連携部まとめ、事業計画案、実施計画書案	南浜中学校 ※事前に原案を各校 教頭に送付
2	1 (水)	南浜中学校区小・中ジョイントスクール校長会議 10時 ・5年度の事業推進計画について協議及び情報交換 ※原案は、当年度事務局が作成する。	南浜中学校
3	20 (月)	事業⑤…新入生1日入学・情報交換(担任、養教)	南浜中学校